

滝川農業塾について

設立に至る経過

滝川市では、将来の本市農業を支える多様な担い手の育成・確保が重要であることから、農業後継者の育成、新規就農者の確保、農業生産法人の育成を推進しており、このうち、農業後継者の育成の取組として平成 24 年度に「滝川農業塾」を設立。（事業実施主体は滝川市農業再生協議会担い手育成部会）

滝川農業塾の目的

農業経営の基礎となる生産技術や経営管理技術の習得や企画・計画・知識力等の向上を図るための先進的農家による実践研修、異業種との交流によるネットワークづくりなどの研修を通じて、意欲にあふれ能力の高い優れた担い手を育成・確保することを目的とする。

対象者

概ね 40 歳未満で農業経験 5 年未満の農業後継者等

事業予算

2,000 千円（滝川市補助金）

カリキュラム

○基礎研修（北海道立農業大学校や総合研究機構花・野菜技術センターによる研修科目を活用）

道立農業大学校 農業経営者育成研修、農業機械高度利用研修、溶接技能研修等
花・野菜技術センター 専門技術研修（花き栽培、野菜栽培、土壌肥料、病害虫）等

○ステップアップ研修

先進農家研修 先進的農業者を招へいした座学

異業種交流 農業以外の幅広い分野の取組を研修

農政研修 関係機関・団体による研修・意見交換

先進地研修 道内外の先駆的農家・法人等の生産現場の視察研修

以上のカリキュラムを選択し、2 年間研修を行う。

入塾状況

第 1 期生（平成 24 年度入塾）	6 名（研修修了）
第 2 期生（平成 25 年度入塾）	5 名（研修修了）
第 3 期生（平成 26 年度入塾）	3 名（研修修了）
第 4 期生（平成 27 年度入塾）	4 名（一部研修未了）
第 5 期生（平成 28 年度入塾）	3 名
第 6 期生（平成 29 年度入塾）	6 名